



## 未来のために、今はできることを粛々と (コロナ禍において)

新潟県立十日町病院 堀 好寿 先生

7月のメディカルフォレスト十日町中央クリニック院長丸山弦先生の「コロナ共存」に引き続いて、再度新型コロナウイルス感染症関連について書かせていただきます。

原稿記載時(7/10)、東京で新型コロナウイルス陽性患者が新規に200人/日以上確認されたものの、経済への配慮のため、イベント開催制限や外出自粛の段階的緩和の目安に基づき、予定通り緩和されてしまいました。今後さらにGo Toキャンペーンがどうなるのかと苦慮しつつ、原稿が掲載される9月にはどんな状況になっているのか正直想定できない状況です。たしかに、経済状況を考慮すれば、自粛、自粛ばかり言っていられないのかもしれませんが、今気をゆるすことで、さらに膨大な不利益が生まれてしまうのではないかと思わずにはられません。たとえば、今年、十日町おおまつりが中止になり、多くの皆様が落ち込んでいるとは思いますが、来年以降おおまつりを通常通り行うために重要な決断であったと思いますし、これから先のことを考慮すればこそ、今はまだ自粛解除の段階ではないと思われまます。

これから徐々に寒くなり感染症のシーズンがやってまいります。例年の通りインフルエンザウイルスやノロウイルスが流行する頃に、新型コロナウイルスの第二波、三波が合わせて猛威を振るわないことを願うばかりです。

感染症から自分の身を守る、家族を守る、地域を守るためには、ある程度は個々がしっかり自覚をもって行動してもらいしかありません。今や子供たちにすら少しずつ認識されつつある「新しい生活様式」を可能な範囲で実践していきましょう。少しでも妻有地域での発生、流行を遅らせられるように地域の方のご協力をお願いします。少しでも流行が遅れば、特効薬がないまでも、少しずつ治療法などが確立されてくる可能性もあります。



☆ コロナウイルスがいないところからうつることはないため、

- ① コロナ流行地域に行かない
- ② コロナ流行地域にいるご家族、親類の帰省などを極力控えてもらう
- ③ いつ、どこで、コロナ患者と接してしまうかがわからないため、外出時などには新しい生活様式を可能な範囲で実践する、を心がけましょう。



幸い、今の段階では、みなさまのご協力（自粛行動）のもと妻有地域に新型コロナウイルス感染患者は発生していませんが、今後遅かれ早かれ必ずこの地域でも発生するでしょう。しかし、十日町市は各病院、医師会、保健所などが連携協力し、全国的にも早い時期からのドライブスルーでのコロナウイルスPCR検査を行うなど、比較的コロナ対応が進んでいる地域と思います。

もしも、コロナが発生、流行してしまったとしても、医療者として、しっかりと対策、治療を行ってまいりたいと思いますので、みなさまは、当地域での発生を少しでも遅らせる、ピークを低くするために、できる範囲でのご協力をお願いいたします。

ワンポイントアドバイスでなく、ただ単なる私見、お願いに終始したことをご容赦ください。

**感染防止にご協力ください**

